



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 チムニー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3178 URL <https://www.chimney.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 和泉 學
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務担当 (氏名) 阿部 真琴 (TEL) 03(5839)2600
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,125	△71.3	△3,761	—	△2,716	—	△3,379	—
2020年3月期第2四半期	21,355	△4.7	543	△46.4	590	△40.5	170	△59.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △3,320百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 165百万円(△57.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△175.80	—
2020年3月期第2四半期	8.86	8.82

(参考) EBITDA 2021年3月期第2四半期 △2,172百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 1,331百万円(△25.7%)

*EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却額

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	24,705	10,686	43.2
2020年3月期	20,530	14,007	68.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 10,682百万円 2020年3月期 14,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	11.50	—	0.00	11.50
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,600	△49.9	△4,500	—	△3,400	—	△4,500	—	△234.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	19,340,800株	2020年3月期	19,340,800株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	118,790株	2020年3月期	118,790株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	19,222,010株	2020年3月期2Q	19,190,830株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、国内外における経済活動への影響の長期化が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、緊急事態宣言解除以降、売上は徐々に回復しつつあるものの、居酒屋は、従来からの課題である異業種を含めた企業間競争の激化、お客様の消費行動の変化等に加え、コロナ禍における在宅勤務へのシフトに代表される勤務スタイルの変化や外出及び会食の自粛など、厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、お客様や従業員の安全を第一に考え、衛生管理や感染拡大防止に取り組みながら、お客様からありがたいをいただけるよう営業をしております。また、「食を中心とした総合サービス産業」として、withコロナ時代における食事需要、ご家族での利用にも対応した「安べゑ」「牛星」「出世街道」「はなの屋」などの新業態への転換を加速しております。経費面につきましては、家賃の減免交渉をはじめ各種経費の見直しを行い、販売費及び一般管理費の削減に努めてまいりました。

コントラクト事業におきましては、固定客が継続的にご来店される事業形態の特性に対応し、店舗独自の日替わりメニューを充実させるなど、安全安心な「また行きたくなる店舗作り」を心掛けてまいりました。

店舗数につきましては、当社におきまして直営店の新規出店が5店舗（49店舗の退店）、フランチャイズへの建売が2店舗（フランチャイズ店から直営店への切り替えが9店舗）あったことにより、当第2四半期連結会計期間末の飲食事業直営店の店舗数は301店舗（前期末338店舗、前年同四半期末342店舗）となりました。コントラクト店につきましては、当第2四半期連結会計期間末のコントラクト店の店舗数は91店舗（前期末91店舗、前年同四半期末93店舗）となりました。また、フランチャイズ店の新規出店が1店舗（22店舗の退店）、直営店からの転換が2店舗（直営店への切り替えが9店舗）あったことにより、当第2四半期連結会計期間末のフランチャイズ店の店舗数は220店舗（前期末248店舗、前年同四半期末263店舗）となりました。さらに連結子会社におきましては、当第2四半期連結会計期間末における株式会社紅フーズコーポレーションの店舗は19店舗、めっちゃ魚が好き株式会社は11店舗、株式会社シーズライフは11店舗であり、当第2四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は653店舗、当社の店舗数は612店舗となっております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により、6,125百万円（前年同期比71.3%減）となり、営業損失は3,761百万円（前年同期は543百万円の営業利益）となりました。また、経常損失は、雇用調整助成金1,040百万円の計上により、2,716百万円（前年同期は590百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、店舗の臨時休業期間中に発生した固定費等の費用を新型コロナウイルス感染症対応による損失として特別損失に1,054百万円計上したことにより3,379百万円（前年同期は170百万円の純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べて4,174百万円増加し、24,705百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産及び無形固定資産が483百万円減少した一方、現金及び預金が4,319百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて7,495百万円増加し、14,019百万円となりました。この主な要因は、有利子負債が7,923百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて3,320百万円減少し、10,686百万円となりました。この主な要因は、当第2四半期連結累計期間の業績により親会社株主に帰属する四半期純損失を3,379百万円計上したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、営業活動により3,306百万円減少、投資活動により268百万円減少、財務活動により7,895百万円増加した結果、前連結会計年度末より4,319百万円増加し7,754百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果減少した資金は、3,306百万円（前年同四半期は381百万円の減少）となりました。主な内訳は、減価償却費が281百万円、のれん償却額が255百万円、雇用調整助成金の受取りが872百万円、法人税等の還付額が271百万円があった一方で、税金等調整前四半期純損失が4,372百万円、仕入債務が278百万円減少、未払金が358百万円減少、法人税等の支払が85百万円あったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果減少した資金は、268百万円（前年同四半期は241百万円の減少）となりました。主な内訳は、差入保証金の回収による収入が246百万円あった一方で、固定資産の取得による支出が207百万円、預り保証金の返還による支出が216百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果増加した資金は、7,895百万円（前年同四半期は577百万円の減少）となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出が213百万円、リース債務の返済による支出が89百万円あった一方で、短期借入れによる収入が8,000百万円、長期借入れによる収入が200百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、緊急事態宣言解除後、感染拡大防止策を講じつつ、経済活動のレベルは段階的に引き上げられております。当社グループにおきましても、お客様や従業員の安全を第一に考え、衛生管理や感染拡大防止に取り組みながら、お客様からありがたいをいただける営業に邁進しております。2021年3月期の連結業績につきましては、これまで未定としておりましたが、売上高20,600百万円（前年同期比49.9%減）、営業損失4,500百万円（前年同期は283百万円の営業利益）、経常損失3,400百万円（前年同期は36百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損失4,500百万円（前年同期は2,812百万円の純損失）と算定いたしました。

下期につきましては、Go Toキャンペーン等の需要喚起策による効果のほか、withコロナ時代への適合として「安べゑ」「牛星」をはじめとする新業態への転換促進、既存店舗における食事需要への対応等により、売上高は回復してくると見込んでおります。また、大人数の宴会需要減少に伴う大型店舗の撤退、店舗オペレーションの見直しによる人的効率化、経費の見直しによる販売費及び一般管理費の削減等により、収益体質の改善を図ってまいります。

なお、上記の予測数値は、直近の動向や当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多くの不確実性を伴っております。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,434,142	7,754,131
売掛金	338,368	234,830
F C債権	449,328	556,861
商品	300,044	212,594
貯蔵品	26,011	23,331
その他	1,315,396	1,034,544
貸倒引当金	△282,689	△351,902
流動資産合計	5,580,601	9,464,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,277,466	2,092,649
その他（純額）	277,375	238,919
有形固定資産合計	2,554,842	2,331,568
無形固定資産		
のれん	5,051,617	4,795,848
その他	105,819	101,831
無形固定資産合計	5,157,437	4,897,680
投資その他の資産		
差入保証金	5,468,808	5,233,166
その他	1,777,418	2,793,455
貸倒引当金	△8,393	△14,578
投資その他の資産合計	7,237,834	8,012,043
固定資産合計	14,950,113	15,241,292
資産合計	20,530,714	24,705,683

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	865,477	587,191
F C 債務	175,418	45,866
短期借入金	—	8,000,000
1年内返済予定の長期借入金	312,408	117,637
未払法人税等	185,780	120,111
賞与引当金	—	189,766
店舗閉鎖損失引当金	206,905	124,023
資産除去債務	343,857	518,276
その他	1,767,489	1,881,294
流動負債合計	3,857,336	11,584,167
固定負債		
長期借入金	49,075	230,165
退職給付に係る負債	231,195	210,657
関係会社事業損失引当金	20,000	20,000
資産除去債務	779,595	747,000
その他	1,586,027	1,227,073
固定負債合計	2,665,893	2,434,896
負債合計	6,523,230	14,019,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,772,621	5,772,621
資本剰余金	2,282,570	2,282,570
利益剰余金	6,341,959	2,962,634
自己株式	△251,029	△251,029
株主資本合計	14,146,122	10,766,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△125,195	△75,343
退職給付に係る調整累計額	△17,655	△8,827
その他の包括利益累計額合計	△142,851	△84,170
非支配株主持分	4,212	3,991
純資産合計	14,007,483	10,686,618
負債純資産合計	20,530,714	24,705,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	21,355,520	6,125,135
売上原価	6,966,919	1,854,651
売上総利益	14,388,600	4,270,483
販売費及び一般管理費	13,845,333	8,031,957
営業利益又は営業損失(△)	543,266	△3,761,474
営業外収益		
受取利息	1,743	1,628
受取配当金	6,242	1,500
受取手数料	32,446	9,215
雇用調整助成金	—	1,040,379
その他	26,789	92,922
営業外収益合計	67,222	1,145,645
営業外費用		
支払利息	1,180	5,927
持分法による投資損失	13,594	86,125
貸倒引当金繰入額	—	6,200
支払補償費	2,588	1,194
その他	2,891	770
営業外費用合計	20,254	100,218
経常利益又は経常損失(△)	590,234	△2,716,047
特別利益		
受取補償金	68,480	30,000
その他	3,000	—
特別利益合計	71,480	30,000
特別損失		
固定資産売却損	—	1,224
固定資産除却損	20,290	4,843
減損損失	165,528	376,136
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	80,579
新型コロナウイルス対応による損失	—	1,054,427
早期割増退職金	—	144,940
その他	2,351	23,824
特別損失合計	188,170	1,685,978
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	473,543	△4,372,025
法人税、住民税及び事業税	469,418	79,126
法人税等調整額	△166,082	△1,071,606
法人税等合計	303,335	△992,480
四半期純利益又は四半期純損失(△)	170,208	△3,379,545
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	64	△220
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	170,144	△3,379,324

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	170,208	△3,379,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,730	49,852
退職給付に係る調整額	△283	8,827
その他の包括利益合計	△5,013	58,680
四半期包括利益	165,195	△3,320,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,130	△3,320,644
非支配株主に係る四半期包括利益	64	△220

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	473,543	△4,372,025
減価償却費	492,948	281,851
減損損失	165,528	376,136
のれん償却額	247,336	255,769
長期前払費用償却額	22,603	8,488
貸倒引当金の増減額(△は減少)	66,935	75,397
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,995	189,766
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,894	—
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△82,881
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,188	△7,814
受取利息及び受取配当金	△7,986	△3,128
支払利息	1,180	5,927
持分法による投資損益(△は益)	13,594	86,125
固定資産売却損益(△は益)	—	1,224
固定資産除却損	20,290	4,843
受取補償金	△68,480	△30,000
雇用調整助成金	—	△1,040,379
早期割増退職金	—	144,940
売上債権の増減額(△は増加)	334,136	103,537
たな卸資産の増減額(△は増加)	△31,601	90,130
F C債権の増減額(△は増加)	△37,211	△107,532
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,527,952	△278,285
F C債務の増減額(△は減少)	△87,368	△129,552
未払金の増減額(△は減少)	△648,925	△358,079
その他	463,294	398,406
小計	△115,831	△4,387,131
利息及び配当金の受取額	7,986	3,084
補償金の受取額	68,480	30,000
利息の支払額	△1,175	△10,711
雇用調整助成金の受取額	—	872,287
法人税等の支払額	△339,222	△85,253
法人税等の還付額	—	271,939
リース解約金の支払額	△1,764	△715
営業活動によるキャッシュ・フロー	△381,528	△3,306,500
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△255,964	△207,006
固定資産の売却による収入	—	521
固定資産の除却による支出	△25,346	△88,352
差入保証金の差入による支出	△75,318	△24,422
差入保証金の回収による収入	142,638	246,389
預り保証金の返還による支出	△5,738	△216,498
預り保証金の受入による収入	9,864	49,620
その他	△31,398	△28,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241,262	△268,637

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	8,000,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△229,992	△213,681
自己株式の処分による収入	12,000	—
配当金の支払額	△220,515	△508
割賦債務の返済による支出	△48,155	△1,440
リース債務の返済による支出	△91,064	△89,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△577,728	7,895,126
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,200,518	4,319,989
現金及び現金同等物の期首残高	7,193,349	3,434,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,992,831	7,754,131

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、居酒屋を中心とした飲食事業の他にセグメントとして、コントラクト事業がありますが、飲食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、緊急事態宣言解除以降、売上高は徐々に回復しておりましたが、7月以降、感染者数が増加してきたことに伴い、東京都における酒類の提供を行う飲食店等に対する営業時間の短縮要請(8月3日から9月15日)などの自粛ムードが再燃いたしました。これにより、売上高の回復は一旦、足踏み状態となりましたが、営業時間の短縮要請が終了した9月中旬以降、売上高及び営業損益とも徐々に回復しております。これらの状況を踏まえ、現段階においては、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症による影響が1年程度続くとする仮定の変更を要する状況にはないものと判断し、固定資産の減損損失の認識や繰延税金資産の回収可能性の判断を行っております。

(表示方法の変更)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「預り保証金の返還による支出」及び「預り保証金の受入による収入」は、金額的重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より独立掲記することといたしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△27,272千円は、「預り保証金の返還による支出」△5,738千円、「預り保証金の受入による収入」9,864千円、「その他」△31,398千円として組み替えております。